第６回　意見交換会　資料

令和8年（2026年）10月25日

教育委員会事務局
学校施設管理課企画推進係
☎06-6858-2705
kyosuishin@city.toyonaka.osaka.jp

建て替えに向けた考え方

令和８年１０月２５日
豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校
意見交換用資料

整備の進め方

豊中市では『学校施設長寿命化計画』に基づき、基本的には築年数の古い学校施設から順次整備を進めることとしています。だたし近隣の学校とセットで改築することが効率的である場合は、周辺校を含め整備することも検討していきます。

建て替え後の学校種別

豊島小・中豊島小・第四中は、児童推計に基づくと、将来に渡り児童生徒数が大きく増減する見込みがないため、**これまで通りそれぞれの小中学校として、建て替えを行うことを検討しています。**

建て替え手法の選定

・建て替えを実施するに当たっては、様々な検討事項がありますが、建て替え計画全体に大きく影響する重要な要素である「建て替え手法」を、他の検討ポイントに先立ち、検討する必要があります。

・豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校の建て替え手法は2案考えられます。

⇒**単独建て替え案（それぞれの学校敷地内で建て替えを実施する案）**

⇒**仮設校舎利用案（豊島公園内に仮設校舎を建設し、周辺の学校を順次建て替える案）**

最優先事項

- **工事期間中においても最適な学習環境の確保**
- **安全・安心な学校生活の維持**

仮設校舎利用案の方向性

案1　単独建替え案

単独建替え案

✅それぞれの学校の敷地内で建替えを実施する案
✅運動場部分に新校舎を建設し、完成後に旧校舎を除却します。
✅敷地の条件により、工事を複数工期に分けて段階的に新校舎を建設する必要があります。

■配置イメージ図

①　第四中



※新校舎は継続して使用

■工事期間：**4年程度**

※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**6年程度**となります。

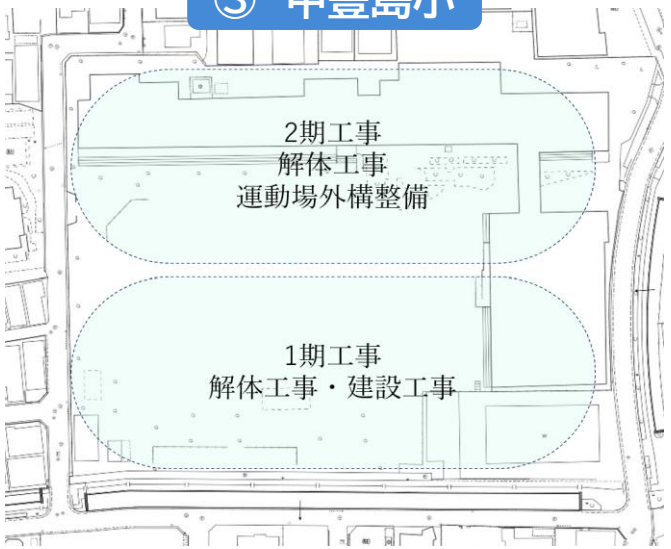
②　豊島小



■工事期間：**5～7年程度**

※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**7～9年程度**となります。

③　中豊島小



■工事期間：**3年程度**

※設計期間（2年）を合わせると整備期間は**5年程度**となります。

ポイント

・通学路は変わりません。
・工事による騒音、振動等の影響を受けます。
・学校によっては整備期間の長期化が予想されます。
・各校ともに運動場の利用は大幅に制限されます。

※スケジュールや配置イメージは一例です。

案2　仮設校舎利用案

令和８年１０月２５日
豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校
意見交換用資料

仮設校舎利用案

✅豊島公園内に仮設校舎を建設し、周辺の学校を順次建て替える案
✅仮設校舎で児童生徒が過ごす期間は、各校3年を想定（各校の工事期間）しています。
✅小規模な体育館・運動場の設置を検討しています。

■工事期間：**計11年程度**（3校の工事期間は各3年程度）

■整備の順番（※1　※2）

①豊島公園に仮設校舎建設（設計2年、工事2年程度）

②第四中学校の建て替え（設計2年、工事3年程度）

③豊島小学校の建て替え（設計2年、工事3年程度）

④中豊島小学の建て替え（設計2年、工事3年程度）

※1
設計期間（2年）及び仮設校舎建設期間（2年）を合わせると整備期間は計13年程度となります。

※2
整備の順番は、基本的に築年数の古い順となっておりますが、小学校・中学校で連続して建替工事期間に当たる児童生徒が出ないようにするため、第四中学校からの建て替えを検討しています。

■配置イメージ図（豊島公園）



■配置イメージ図（第四中学校）



■配置イメージ図（豊島小学校）



■配置イメージ図（中豊島小学校）



ポイント

・通学路の変更が生じます。
・工事による騒音、振動等の影響を受けることがありません。
・工事期間が短くなります。
・それぞれの学校について設計の自由度が高まります。

※スケジュールや配置イメージは一例です。

通学環境について

令和８年１０月２５日
豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校
意見交換用資料

通学環境の変化に対する対策は関係機関と協議しながら具体的な検討を進めてまいります

①調整区域の設定の検討

豊中市では、お住まいの住所により就学する学校を指定していますが、一定の条件を満たす場合には、保護者の申立てにより、
指定校変更（豊中市内での校区外通学）を一定期間承諾することが可能です。⇒通学距離が2kmを超える地域に対しては近隣校区への指定校変更も検討

豊島小学校＜地理的理由（調整区域）＞

＜例＞ **区域：稲津町1～3丁目**
指定校変更先：高川小学校・庄内さくら学園
期間：卒業又は調整区域外へ異動するまで（建て替え後指定校に戻ることも可能）
対象：1～6年生

②スクールバスの検討
（学年が上がるほど友人関係が深まることを考慮）

・稲津町1～3丁目を対象（2km以上のため）

※バスの運用詳細についてはよつば学園でのスキームを元にワークショップなども行い検討を進めます



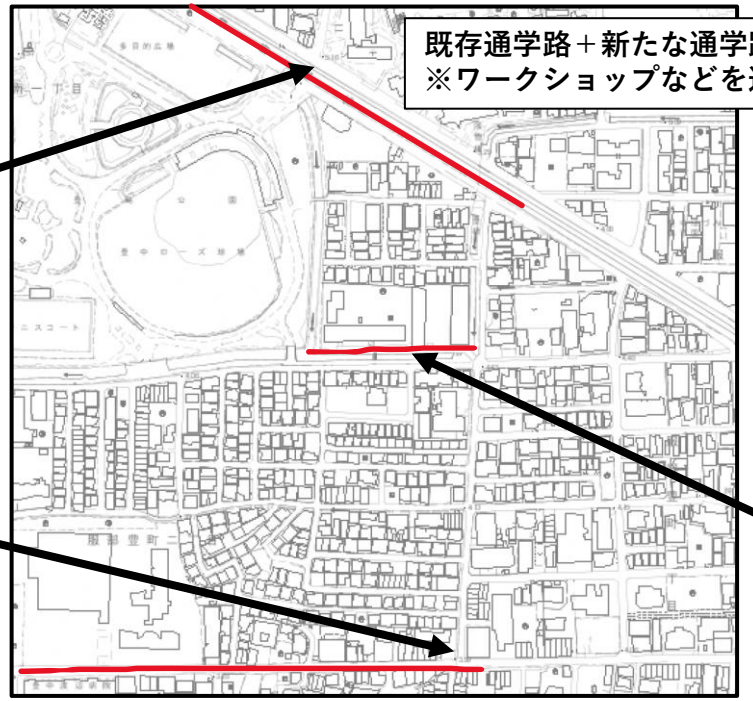


③クールスポットの検討

・通学路上にある公共施設などを利用し
クールスポットを設定

④通学路の安全確保の検討

・カラー舗装、看板設置等のハード面対応
・危険箇所へ見守り隊等の配置





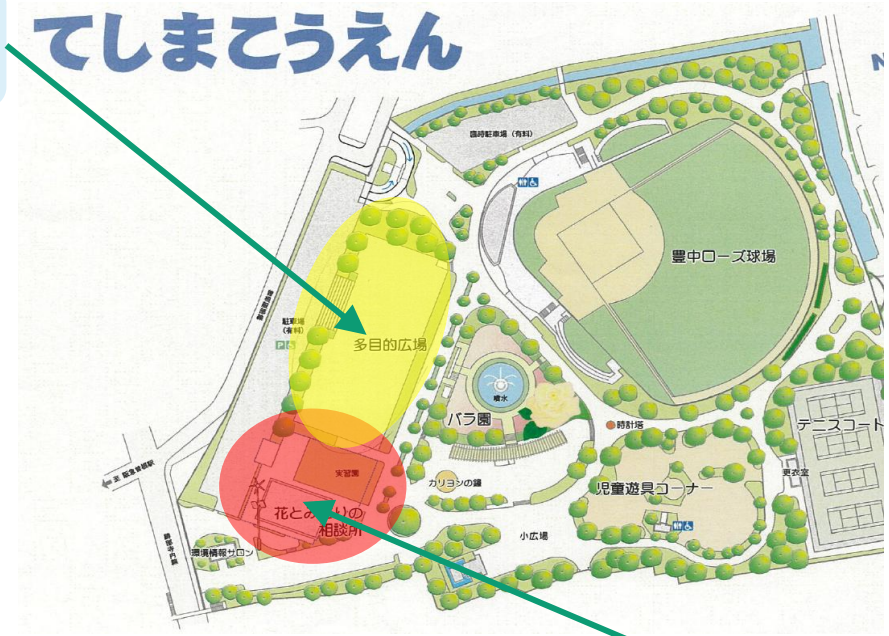
※方向性が固まり次第、通学距離が長くなる地域については、実際に通う方々の意見を踏まえながら通学負担の軽減策を検討します

学校生活のイメージについて

- 現在と同様の教育活動が実施できるよう必要な施設・機能を確保し学習環境を維持
- セキュリティラインの切り分け等により安全を確保しつつ、仮設校舎ならではのカリキュラムの創出

プレハブ校舎（2階建）2棟
（検討中）

種別	概要（例）
普通教室	・必要数確保
管理諸室	・職員室 ・事務室 ・校長室 ・保健室etc・・・
特別支援教室	・必要数確保
理科室	・2教室
配膳室	・2室



安全

・プレハブ校舎外周にフェンスを設置
・複合施設内はセキュリティラインの徹底

カリキュラム

・豊島公園内のローズ球場やテニスコート
複合施設内（図書館など）の活用など

校舎外観（イメージ）





教室（イメージ）

複合施設の一部利用
（検討中）

種別	概要（例）
特別教室	・音楽室 ・家庭科室 ・図工・美術室etc・・
その他諸室	多目的室、学校図書館、体育館・・



体育館屋上に運動場を検討（イメージ）

※体育館などの施設については、将来的な活用も見据えた整備手法を検討しています。

各手法の比較検討

		仮設校舎利用案（拠点校方式）	単独建替え案
工事期間		○ 計11年程度 ※仮設校舎建設の2年を含む。 （各校3年程度）	合計12～14年程度 （第4中：4年程度　豊島小：5～7年程度　中豊島小：3年程度）
教育環境への影響	騒音・振動・粉じん	○ なし	課題あり
	運動場	○ 仮設校舎に設置 ※現在の学校運動場の面積よりは狭くなる見込みです。	一定の制約あり
	体育館	○ 仮設校舎に設置	○ 可能な限り、工事期間中体育館が存在する状態を維持
	プール	○ 外部のプール施設 （近隣の学校、公営施設、民間施設）の利用を検討	○ 外部のプール施設 （近隣の学校、公営施設、民間施設）の利用を検討
	放課後こどもクラブ	○ 敷地内にクラブ室を設置する予定	学校敷地外部での教室確保が必要となる可能性あり
	通学	通学時間は5分～10分程度 長くなる可能性 （一部地域で指定校変更・バス対応を検討）	下校時間帯に工事車両の往来あり （通学路の安全対策や見守り体制の対応の必要あり）
	設計	○ 設計の自由度が高い （機能的な学校設計が可能）	校舎の現位置再建や最適配置が難しい
周辺地域への影響		○ ・周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響があるものの工事期間は比較的短くなる（各校3年） ・校舎位置による環境の変化を受けにくい	・周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響 （第4中：4年程度　豊島小：5～7年程度　中豊島小：3年程度） ・校舎位置の変更による環境の変化あり
コスト		1つの仮設校舎で3校建替期間使用、複合施設の一部利用 （将来的転用）でコストダウン	工期が延びることで工費の増加

建て替え手法の選定方針

建て替え手法の選定に当たっては、個別の学校や地域における特有の事情等に配慮しながら、各手法ごとの教育環境への影響、コスト、工事期間の各観点から総合的に判断を行う（「豊中市学校施設整備方針」参照）。